

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	産業建設部 うれしの茶振興課
会議名 (審議会等名)	うれしの茶交流館建設推進委員会	
開催日時	平成29年3月23日 13時30分～15時00分	
開催場所	嬉野市茶業研修施設 嬉茶楽館	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数 0人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由		
出席者	委員	村岡委員、藤瀬委員、池田（栄）委員、池田（正）委員、 橋爪委員、釘本委員、槐原委員、
	事務局	うれしの茶振興課長 うれしの茶振興課副課長 うれしの茶振興課係員
	その他	委託業者
会議の議題	別紙のとおり	
配布資料	うれしの茶交流館（仮称）ガイダンス映像 うれしの茶交流館（仮称）展示設計	
審議等の内容	別紙のとおり	

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	産業建設部 うれしの茶振興課
議 題	うれしの茶交流館進捗状況及び今後の検討内容について		
内 容	うれしの茶交流館の進捗状況と今後の検討内容について、委員へ説明を行った。		
審議経過	委託業者	うれしの茶交流館（仮称）進捗状況について説明	
	委託業者	うれしの茶交流館（仮称）今後の検討内容について説明	
	委員	栄西と大浦慶の展示については根拠となる裏付け資料が無い。	
	委員	売茶翁の展示については売茶翁研究家の田中新一氏にコンタクトを取るのが良い。売茶翁は蓮池藩出身で彫り物が残っている。	
	委員	売茶翁関連の史跡を紹介するという展示方法も考えられる。	
	委員	茶の料理レシピは研修室で体験が出来るようにしてはどうか。	
	委員	島田市、入間市に類似館があり参考にできる。入間市は茶畑を持ち、体験型カレッジを開催している。展示は更新型ではない。	
	委員	鳥栖に久光製菓の建てた「くすり博物館」がある。薬草の効能等を展示しており、小規模で参考になる。	
	委員	展示資料は補修が必要。	
	事務局 事務局	資料選定を早めに行い、補修作業に取りかかりたい。 吉村家の判子はレプリカ製作を行う。3Dプリンターまたは専門の業者に依頼する予定。	
委員	野中烏犀圓がパリ万博に出品した際、嬉野茶を持って行った。関連写真の展示を行えないか。		

	<p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p>	<p>へりや商会在長崎から神戸への茶の流通に関わっており、嬉野茶の流通量や値段についての統計資料有り。</p> <p>ヨーロッパでは「ウレシノ」と言えばお茶を指すとも言われている。文献があるのではないか。嬉野茶が海外に広がる、その根拠を示したい。</p> <p>売茶翁は自身で飲むために嬉野から茶を送らせている。書籍「売茶翁の生涯」に記載有り。この館が売茶翁研究のメッカとなることを目指したい（研究者にとっても役に立つ展示内容としたい）。</p> <p>吉村家の家系図が名古屋城博物館に所蔵されている。</p> <p>オープン後、一定の来館者数を確保するために定期的な特別展、イベントは必要。</p> <p>エントランス、カフェ等で茶器の展示等を行いたいと考えている。</p> <p>茶の加工についての企画も考えられる。</p> <p>昭和 24 年に昭和天皇が茶摘み体験をした。</p> <p>製茶ゾーンのモニター映像では昔の道具を使っている写真に加え、現代の工程も組み合わせることで比較が出来る。</p> <p>展示の概要をまとめたパンフレットは必要。</p> <p>嬉野市外からの来館者にとっては試飲コーナーが一番の広告塔になる。</p> <p>嬉野茶の特徴を示したい（例：嬉野の地形的な特徴、加工（釜炒り）の特徴、釜炒りに至る変遷、等）。</p> <p>嬉野が「釜炒り茶のふるさと」であることをアピールする館としたい。</p> <p>お茶の活用は多岐に渡ることを示したい。</p>
<p>その他</p>		

